

平成 15 年度試験研究成果書

区分	指導	題名	野菜作経営における雇用労力活用のポイントと効果		
〔要約〕 野菜作経営で雇用労力を活用する際は、パートの希望する作業内容、作業環境、勤務期間等に配慮することが必要である。また、雇用期間を長期化させるとともに、作業を役割分担し、パートに責任を持たせるという雇用管理を実践することで、家族の労働時間軽減及び1時間当りの所得向上が期待できる。					
キーワード	雇用労力	雇用期間長期化	時間当所得	企画経営情報部農業経営研究室	

1 背景とねらい

農業就業人口の減少、高齢化が進む中、野菜主業型農家を育成するためには、雇用労力を活用し、所得の安定、向上を図ることが必要である。このため、農業協同組合が事業実施主体となって取り組んでいる労力支援事業（通称：グリーンヘルパー制度）を14年度に活用した野菜農家及びパートを対象にしたアンケート調査及び雇用労力を活用している農家の事例調査を実施し、実態を把握したうえで、野菜作経営における雇用労力活用のポイントと効果を提示する。

2 成果の内容

(1) 雇用労力活用のポイント

ア パート希望者が応募する際の情報入手手段は「新聞折り込みチラシ」が最も多いので、農協等がパートを募集する際は有効活用すること(表1)。

イ パートの希望する勤務期間、最低賃金、勤務時間及び作業内容について、特徴を年代別に比較した結果、「希望勤務期間は年代の上昇に伴い、長期化する」、「希望最低賃金は40代以下で高く、50代以上では幅がある」、「希望作業時間は40代以上でサラリーマン並の8時～17時等が多い」、「希望作業内容は全体では収穫作業が約6割であり、30代以下は収穫、管理、選別・調製・箱詰にフレキシブルに対応する」ということがわかるので、円滑な労使関係を築くため、農協、農家等はこれらの特徴を認識したうえで、十分な時間をとって面接を行い、採用者を決定すること(表1、2)。

ウ パートが勤務条件として重視している項目の内、農家の作業環境整備割合の低かった項目に「労災保険の加入」、「圃場内のトイレ」が挙げられ、これらはパートの8割が女性であることから最低限整備する必要があること(表3、4)。

エ パートの希望勤務期間の平均約5ヵ月に対し、農家の希望は平均約3ヵ月なので、パートの定着には雇用期間の長期化を図る必要があること(表5)。

(2) 雇用期間の長期化の効果

ア キュウリ主業型農家である紫波町内のH氏は、5年前にグリーンヘルパー制度を活用し、町内在住者2名を5ヵ月間(7～8月は1人追加)雇用し、雇用前に比べ、経営規模1.2a拡大、1時間当りの所得も約460円増加させるとともに、雇用期間中の管理作業は全てパートに責任を持って任せ、管理作業にたけたパートが新米パートに作業を伝授するという雇用管理を実践し、家族の労働時間軽減を図っている(表6)。

イ 上記の果菜類の事例に加え、土地利用型のレタスについて、アンケートから得られたパートの希望する勤務時間、勤務期間及び最低賃金で最も回答の多い項目を適用し、農家が5ヵ月間、雇用2名を活用した場合の経営シミュレーションを行った結果、家族労働のみ、あるいは3ヵ月間雇用の場合と比較して、1時間当りの所得向上が可能であることがわかる(表7)。

3 成果活用上の留意事項

(1) 今回のアンケート調査は、農業協同組合が事業実施主体となって取り組む労力支援事業を契機に雇用関係を結んだ農家及びパートについて集計したものであり、事務が生産者グループ等に移管されたものや農業協同組合を通さず農家が個別に雇用している事例は含まれていない。

(2) 労災保険法3条により労災保険の加入が義務づけられているが、常時5人未満の労働者を使用する農業で、主として一定の危険、有害な作業を行わないものは、暫定任意適用とされる。

4 成果の活用方法等

(1) 適用地帯又は対象者：労力支援事業実施地区並びに実施予定地区の農業協同組合

(2) 期待する活用効果：円滑な事業運営による雇用確保、雇用労力の活用による農業所得の向上

5 当該事項に係る試験研究課題

(700)「主業型農家の経営発展過程分析による育成支援方策の解明」(H13～H15、県単)

6 参考資料・文献

土地利用型野菜の労働力利用調整労働力確保利用調整マニュアル, 岩手農試, 1995

7 試験成績の概要

14年度にヘルパー制度を活用した農家100名中40名、パート153名中58名の回答を集計

表1 パートの実態

単位：%

性別	年齢	住所(地域)	作業品目の上位(複数回答)
男性	18 30代以下	16 盛岡市	27 きゅうり 45
女性	82 40代	30 岩手郡	20 トマト 20
農家、非農家の別	50代	29 紫波郡	23 ほうれんそう 13
農家	35 60代以上	25 西磐井郡、宮城県	23 レタス 13
非農家	65	二戸郡	7 ねぎ 11
募集情報入手手段(複数回答)	希望の作業内容	希望の作業時間帯	希望の最低賃金
新聞折り込みチラシ	56 収穫	56 8~17時台	38 600円以上 17
知人の紹介	23 整枝、摘葉、摘果	20 9~17時台	12 700円以上 45
農協・市町村等の紹介	16 選別、調製、箱詰	20 9~16時台	10 800円以上 34
農協・市町村広報誌	9 播種、定植	2 4~6時台 or 5~7時台	14 900円以上 4
職業紹介所、その他	9 その他	2 その他	26 1,000円以上 0

表2 パートの希望する勤務期間、最低賃金、勤務時間、作業内容

表3 パートの勤務条件重視項目

表4 農家の作業環境整備状況

表5 農家、パートの希望雇用期間の比較

年代	平均希望勤務期間 注1	平均希望最低賃金 注2	希望勤務時間で、(注3)1日を選択した人の特化係数	希望作業内容(特化係数)			項目				%	希望期間	パート	農家	
				収穫	管理	選別・調製・箱詰	重視	普通	軽視	項目					
30代以下	130日(123)	743円(53)	0.17	0.08	0.22	0.11	勤務時間が希望どおり	87%	13%	0%	パートの希望に合う勤務時間設定	79	4月~8月	5%	0%
40代	150(54)	747(52)	0.30	0.38	0.56	0.11	圃場にトイレがある	81	17	2	休憩時間の設定	68	4月~10月	7	6
50代	177(81)	700(105)	0.23	0.29	0.11	0.44	けが等の保険がある	80	18	2	圃場内のトイレ	53	5月~9月	7	9
60代以上	155(48)	717(94)	0.30	0.25	0.11	0.34	勤務先農家との相性	68	30	2	定期的な休日の設定	34	5月~10月	14	12
合計	-	-	1.00	1.00	1.00	1.00	作業内容が希望どおり	64	34	2	通勤時の送迎	34	5月~11月	9	0
							休憩所がある	60	36	4	脱衣所	32	6月~9月	9	18
							定期的な休日がある	42	42	16	パートの希望に合う賃金設定	29	7月~9月	5	30
							超勤手当、賞与がある	35	48	17	超勤手当、賞与	26	7月~10月	9	3
							失業保険がもらえる	29	37	34	レクリエーションの設定	24	周年	7	0
							脱衣所がある	26	49	25	作業計画の明確化	18	その他	28	22
							通勤の際、送迎がある	17	33	50	有給休暇の設定	13	希望期間の平均	154日	91日
							有給休暇がある	15	53	32	労災保険加入	5			
							託児所がある	11	31	58					
							レクリエーションがある	8	35	57					

表6 紫波町内キュウリ主業型農家H氏の経営事例

時期	体系	労働力	収穫期間中の平均的な1日の労働時間帯(食事、休憩時含む)							労働日数計(日)	雇用労賃(千円)	労働時間計(時間)	所得(千円)	時間当所得(円/時間)
			5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月					
平成9年	ハウス早出し(8a) 露地普通・抑制(25a) ハウス遅出し(8a)	H氏	5~8時	4~7時	4~12時		5~8時	5~8時	180	-	3,570	3,100	868	
		H氏の妻	10~12時	9~12時	14~18時		9~12時	15~17時						
		1日当労働時間の平均	7	11	15	15	10	3						3
平成10年以降	ハウス早出し(10a) 露地普通・抑制(35a) ハウス遅出し(10a) 参考: 紫波町内販売農家平均規模12.6a(2000センサス)	H氏	5~7時	5~7時	5~12時		5~7時	5~7時	188	-	1,538	3,800(5年平均)	1,326	
		H氏の妻	15~18時	9~12時	14~18時		9~12時	10~12時						15~17時
		1日当労働時間の平均	4.9	8.7	13.6	13.3	6.4	2.5						4.9
		パート1	管理	5~8時	5~8時、16~18時					103	1,150	505	-	-
		1日当労働時間の平均	3	5	5	5	5							
		パート2	管理	8~17時	8~17時									
		1日当労働時間の平均	8	8	8	8	8							
パート3			5~7時、15~17時					48	192					
1日当労働時間の平均			5	5										

平成9年については面接調査、10年以降については面接調査及び15年の作業記帳から集計

表7 雇用を活用した場合の経営シミュレーション(線形計画法による最大所得の試算)

体系	労働力	規模(a)	労働時間		所得(千円)	雇用労賃(千円)	時間当所得(円/時間)
			家族	雇用			
レタス(高冷地6月~10月どり)	家族のみ	271.7	2,246	-	2,976	-	1,325
	家族+雇用(7~9月)	405.9	2,286	961	3,687	673	1,613
	家族+雇用(6~10月)	489.2	2,443	1,601	4,237	1,121	1,735

線形計画法の制約条件

家族労働条件: 2名、1日8時間労働、月25日労働

雇用労働条件: 2名、賃金700円/時間、1日8時間労働、月20日労働

販売単価: 133円/kg(過去6力年の県産単価で最大、最小を除く4力年を平均)

面積上限: 500a その他の費用: 生産技術体系の数値を適用

参考: 一戸町内販売農家平均規模185a(2000センサス)